

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公表番号】特表2016-539444(P2016-539444A)

【公表日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-068

【出願番号】特願2016-551032(P2016-551032)

【国際特許分類】

G 05 B 19/05 (2006.01)

【F I】

G 05 B 19/05 S

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月7日(2017.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

図2は、第1の制御装置および第2の制御装置に関して、本発明の方法を用いた手法を示している。プラットフォーム独立モデル(PIM)が、イベント駆動型第2のアプリケーション向けに作成され4、PIMは、イベント・ライン40におけるイベント入力/出力、およびデータ・ライン42におけるデータ入力/出力とともに、1つまたは複数の第2のファンクション・ブロック30、32、34、36、38を組み込む。プラットフォーム独立モデルを作成すること4は、第2のエディタを用いて、第1のファンクション・ブロック44のアグノスティックな表象を備える共有データベースにアクセスし、それによって、第1のファンクション・ブロックを取得することを備える。PIMの作成と同時に、第2のアプリケーション向けの第1の制御装置PAC1のプラットフォーム定義モデル(PDM)が作成される。次いで、プラットフォーム固有モデル(PSM)が、第2のアプリケーション向けに作成される8。第2のアプリケーション向けにPSMを作成すること8は、第2のツールを用いて、第1の制御装置PAC1に、第2のファンクション・ブロックを含んだ第2のアプリケーションの一次部分30、32、34を、および第2の制御装置PAC2に、第2のアプリケーションの二次部分36、38を割り当て、コンパイルすることを備える。第1のファンクション・ブロック44は、第1のツールを用いて、インスタンスを作成され、論理入力/出力は、第1のツールを用いて、PAC1のI/Oモジュール58の物理入力/出力に割り当てられる46。第1のファンクション・ブロックは、第1のツールを用いて、第1のアプリケーションにコンパイルされる。この方法は、第1の制御装置構成、第1のアプリケーション、および第2のアプリケーションの一次部分30、32、34を第1の制御装置PAC1にダウンロードすることを備える。任意選択で、この方法は、第2の制御装置構成、および第2のアプリケーションの二次部分36、38を第2の制御装置PAC2にダウンロードすることを備える。